

2016 愛媛県プレミアリーグU-13 実施要項

- 1 主 旨 愛媛県では、9年前からU-15リーグ戦の整備を進めてきた。すでに2012年2月より、県下の3種登録チームの大半が出場するU-15リーグ戦が完成し、実施されている。そして、2012年5月以降、日本サッカー協会からの通達により、U-13リーグの段階的な実施ということとなった。愛媛県でも2012年度以降、段階的に整備していき、一昨年度より県下での希望を募り、一斉開催することとなった。
- 2 目 的 (1) 「プレーヤーズ・ファースト」という視点に立った、「レベルに応じた(レベルの拮抗した)」「長期間を通じて行われる定期的な(M-T-Mメソッドに基づいた)」3種年代のリーグ戦を整備し、リーグ戦文化の定着を目指す。
- (2) このリーグ戦化を通して、愛媛県内の3種年代のレベルアップにつなげる。
- (3) U-12リーグで技術や体力を培ってきた選手が3種年代になっても、試合への出場機会が設けられ、このリーグ戦を通して更なるレベルアップを目指すこととする。

- 2 名 称 2016 愛媛県プレミアリーグU-13 【略称:2016 EPリーグ U-13】
- 3 主 催 (一社)愛媛県サッカー協会
- 4 主 管 (一社)愛媛県サッカー協会 3種委員会
- 5 期 日 2016年5月～2016年12月
- 6 会 場 愛媛県下の各会場
- 7 開催方法 募集をして、EPリーグU-15とは別に独立したU-13リーグを開催 【独立リーグ方法】

- 8 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会3種に加盟登録しているチームおよび選手であること。
- (2) 女子加盟チーム所属の選手については、中体連のチームに限り、その中学校に在籍している者は移籍手続きを行うことなく参加することができる。
- (3) (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第4種年代のみとし、同一クラブ内の第4種複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、小学6年生に限る。
この場合、小学6年生が試合に出場および登録できる**最大人数を5名まで**とする。
- (4) **2016EPリーグU-15に出場しているU-13の選手でも出場できる。**
※ U-15リーグとU-13リーグは別大会であるため。
- (5) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は不可とする。
- 1) 合同するチームおよびその選手は、それぞれ8-(1)を満たしていること
 - 2) 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと
 - 3) 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - 4) 合同チームとしての参加を(一社)愛媛県サッカー協会第3種委員長が別途了承すること
- (6) このリーグ戦への途中参入および途中離脱は認めない。
- 1) いかなる理由があろうとも、シーズン途中の新規参入は認めない。
 - 2) 途中離脱の場合、翌年のリーグ戦への参加を禁止する。
- (7) 四国U-13リーグサザンクロス2016に出場しているチームは、この2016EPリーグU-13にはエントリーできない。
※2016EPリーグU-13の上位リーグとして、四国U-13リーグサザンクロス2016があるため。

【四国U-13リーグサザンクロス2016出場10チーム】

愛媛FC	愛媛FC新居浜			(愛媛)
FCディアモ	FC. コーマラント	カマタマーレ讃岐	シーガルFC	(香川)
徳島ヴォルティス	徳島FCリベリモ			(徳島)
FCコラソン	アルバFC高知			(高知)

- 9 競技方法 (1) エントリーチームによる1回戦(参加チーム数によっては2回戦)のリーグ戦方式で行う。
- (2) 試合時間は60分(30-5-30)とする。
- (3) **ピッチサイズは、縦105m～85m程度、横65m～55m程度の範囲の大きさとする。**
なお、JFAおよび四国協会推奨のピッチサイズは、四国U-13リーグサザンクロス2014実施要項にあるように、**縦90m×横60m**である。
カラーコーンやマーカでの設営を可とする。
設置方法に関しては、別紙添付資料【ピッチの設営】を参照のこと。
- (4) 順位決定方法は、勝ち3点、分1点、敗0点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。なお、勝ち点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
- ① 全試合のゴールディフェレンス(総得点-総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績
 - ④ コイントスによる抽選

- (5) 主審は有資格者が担当し、副審は対戦チーム双方から出すものとする。(中学生も可。)基本的に第4審は置かないので、選手交代は主審への口頭での申告で行うこととする。
- (6) **何らかの理由があり、U-13の選手数が試合成立の人数に満たない場合は、双方のチーム代表者の話し合いのもと、U-14の選手を試合に出場させても構わないこととする。臨機応変に行うこと。**
その場合、(一社)愛媛県サッカー協会第3種委員長が別途了承すること。
なお、その場合、本リーグで1位および2位となっても四国リーグ参入戦への権利はなくなる。
- 10 競技規則 (1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。
(2) 交代に関しては、大会登録した選手全員の中から交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場できる。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。(登録選手の人数の制限はしない。)再交代制を採用することとし、選手交代用紙は使用しない。
(3) 本大会において退場を命じられた選手は、**原則、この2016EPリーグU-13での次節の1試合に出場できず、**それ以降の処置については、(一社)愛媛県サッカー協会規律フェアプレー委員長・第3種委員長・第3種副委員長・各地区第3種委員長で会議を行い、決定する。
(4) 本大会期間中に**警告を2回**受けた選手は、**原則、この2016EPリーグU-13での次節の1試合に出場できない。**
- 11 試合の成立 (1) 試合開始時に7人未満の場合および試合開始時刻に無断で遅れた場合は棄権とみなす。
(2) 棄権したチームのスコアは0対8として扱う。
(3) やむを得ない事情により試合が成立しない場合は、会場責任者・チーム責任者・第3種委員長・第3種副委員長・各地区第3種委員長で相談し、以後の対応を決定する。
(4) 意図的な棄権をしたチームは最下位とする。
(5) **危機事象【雷鳴・落雷】発生時における試合運営に係る判断については、JFAおよび(一社)愛媛県サッカー協会の規定により以下のとおりとする。**
① 試合開始前(後)における危機事象による中断時間は最大(累積)30分とし、以降、試合開始(再開)不可能な場合は中止とする。
② ①により、中止となった場合、再試合の日程が別日に設けられる場合は、再試合を行う。
③ 試合開始(前半キックオフ)以降、試合中断時間は最大(累積)30分とし、以降試合不可能な場合、試合は成立したものとみなし、試合のスコアは中断時点のものとする。再試合の日程が取れない場合は、上記のとおり途中結果を試合結果とする。
④ ③の際に、別日程で再試合できる場合には、再試合を行う。
(6) ただし、対戦チーム双方の責任者・会場責任者で相談して、事前に延期が決まり、代替開催日が決まっている場合は、(1)～(4)は適用しない。
- 12 大会エントリー **2016年5月6日(金)12:00までに、**担当者(白石)にe-mailでエントリー用紙を送付すること。それ以降の申込みは一切受け付けない。
- 13 選手の登録 (1) 大会への選手登録は、**第1節開幕の7日前までに**e-mailで配布する登録用紙に必要事項を記入(【背番号・節・試合日・対戦チーム名・監督署名欄】は空欄でかまわない)の上、上記の各担当までe-mailで送付すること。
また、各試合当日に試合登録選手の背番号を記入し、先発欄に○をつけ、監督が直筆で署名したものを2部持参し、各対戦相手に1部、もう1部を運営本部に提出すること。
(2) 登録選手の変更があれば追加および削除をし、担当者(白石)にその都度、e-mailにて提出すること。各試合において、登録変更されていない選手が出場していた場合、その試合は没収試合とし、スコアを0対8として扱う。
- 14 ユニフォーム ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)については正の他に色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。背番号は1番から99番までとする。なお、色彩は濃淡を携行するのが望ましい。(例 白色と青色)
- 15 大会参加費 無料(会場費は予定されている全試合終了後、事務局より支払う)
- 16 表彰 1位チームに表彰状を授与する。
- 17 四国U-13サザンクロスリーグへの参入戦について (1) 四国U-13サザンクロスリーグ参入戦規定(自動降格を含む)詳細については、別紙添付資料【四国U-13サザンクロスリーグ実施要項(13 参入戦)】を参考にすること。
(2) 本リーグの全日程が終了した時点の順位で参入戦出場チームは決定される。
(3) 本リーグの1位チームは四国各県1位チームと参入戦を行う。
(参入戦については四国U-13サザンクロスリーグ2016の要項に従う。)
※1 四国各県1位チームとの入替戦を本リーグの1位チームが辞退した場合は2位のチームが出場する。
※2 2位のチームも辞退した場合は、愛媛以外の四国各県1位チームのみでの入替戦を行う。
※3 上記の※2に関しては、四国3種委員長会議にて決定済み。(他県も同じ規定)
(4) **【四国U-13サザンクロスリーグ実施要項(10 参加資格)】の10-8にあるように、『参加するチームは原則ホームグラウンドを有する』ことが条件であるので、常時用意できるグラウンドを保有していないチームは、四国U-13サザンクロスリーグおよび参入戦へは、出場できない。**
※4 17-(4)については、四国3種委員長会議にて決定済み。
(5) 何らかの理由で参入する権利をもつチームがそれを辞退するときは、その旨を(一社)愛媛県サッカー協会第3種委員長に届けを申し出て承認を得ること。この場合、次の順位のチームが参入戦に出場する権利をもつこととする。(上記(3)にあるように2位まで)

(6) 参入戦の日程・会場および方法は下記のとおりである。

【日程】 2017年1月5日(木)

【会場】 高知県

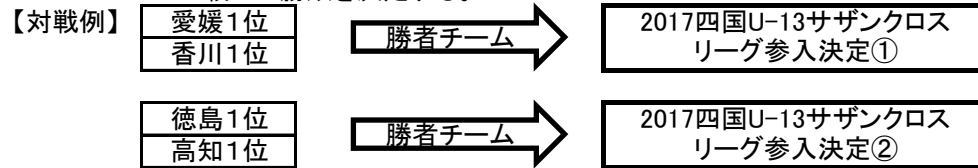
(四国トレセン対抗戦2日目終了後に同会場にて実施)

【方法】 ①2016年秋頃に開催の四国3種委員長会にて抽選

②抽選結果により以下のように対戦し、勝者2チームが次年度の四国U-13サザンクロスリーグに参入する。

※四国リーグ下位2チームは各県リーグに自動降格

③参入戦の試合時間は、60分(30-5-30)で行い、引き分けの場合は、PK戦にて勝敗を決定する。



※ただし、対戦県の上位2チームが参入戦出場を辞退した場合は、不戦勝で、次年度の四国U-13サザンクロスリーグへの出場が決まる。

18 日程案

5月～11月の期間で、責任者を中心に各チームで相談の上、日程を作成する。

19 その他

(1) ベンチ入りできる人員は、登録選手全員と役員4名以内を上限とする。

(2) 大会期間中の事故については、主催者側は一切責任を負わない。万一の事故に備えて傷害保険に各チームで加入しておくこと。

(3) 開会式及び、閉会式は行わない。

(4) 各会場に選手証を持参し、試合前に運営本部に提示すること。

(5) 選手証不正使用等のJFA規約および規則違反を犯したチーム・該当スタッフ・該当選手には本大会の規律フェアプレー委員会がJFAの懲罰規定に基づき、懲罰を下す。なお、本大会の規律フェアプレー委員会は(一社)愛媛県サッカー協会規律フェアプレー委員長・第3種委員長・第3種副委員長・各地区第3種委員長で構成される。なお、JFA規約および規則違反を犯したチームは翌年のリーグ戦への参加を認めない。

20 愛媛県
担当責任者

U-13担当責任者→伊予市立双海中学校 白石 淳

21 四国
担当責任者

U-13担当責任者→松山市立小野中学校 金房 軌人 (四国連絡調整・結果集計および配信)